



# 吉高人権だより

2021年 9月号

愛媛県立吉田高等学校 人権委員会発行

## 『二面性を考えた言動を』

商業科 松本 敏志

商業科目に「簿記」がある。これは、企業が日々の取引を書き込んでいく帳簿（日記、球技でいえば試合のスコアブック）の世界共通の記入法を学ぶ科目である。スコアブックをつけたことがある人ならば、その試合の流れが簡単に分かり、次の試合への戦略につながることを知っているだろう。簿記も同じである。ただし、簿記は物事を必ず二面から考えるところに特徴がある。例えば、「現金100万円を借りた」としよう。知らない人が見れば、「あの人の財布には100万円が入っている。お金持ちだ！」と思うだろう。だが、実際には借りたお金であり、借金である。金持ちでも何でもない。下手をすれば、他に借金があつて大変なことになっているかもしれない……というように二面（表と裏）から捉えていく。世の中には、必ず二面性がある。いいもうけ話があつても本当は……など二面を考えて行動をとれば少なくともトラブルに巻き込まれることが減ると思う。

さて、話は変わるが、悲しいことに差別や偏見、いじめ、心ない誹謗中傷など数多くのことがテレビや新聞などのメディアをにぎわせ、身近なところで日々起きている。さらに日本が諸外国と比べ、人権感覚の低さが問われている。これらは、一面的な考えでは解決の糸口が見えない。幸いなことに皆さんは今まで、人権・同和教育を受けてきている。差別や偏見、いじめの背景やなぜしてはならないかなど（別な一面）を学習してきているはずである。差別やいじめをする者がいればされる者がいる、それを愉快に感じる者がいれば不愉快な者もいるなど二面から考えていくと、された側の気持ちがよく分かる、そんな学習をしてきたと思う。また、今までに私を含め皆さんも大小の如何に関わらず、いやな思いをしたり、させたりしたことがあると思う。常日頃から物事を二面的に捉え、正しい言動に心がけ、いやな思いをする人を共になくしていきましょう。

最後に、法律用語に「善意」と「悪意」があります。「善意無過失」という用い方をします。「善意」とは、あること（事実）を知らないこと、「悪意」とは、あること（事実）を知っていることを言います。さて、皆さんの言動は、どちらですか？

## 【生徒活動報告】 「宇和島地区人権委員会交流学習会 2021」

8月1日（日）に宇和島市番城福祉会館を会場に行われました。宇和島地区の6校の人権委員20名と教員、西予市宇和町の「たんぼぼ読書会」のメンバー6名をお招きして、交流研修会が行われました。5つの班に分かれ、結婚差別に関して話し合いを行い、そこから出た意見を全体で共有し意見交換を行いました。活発な意見交換ができ充実した研修になりました。



交流学習会に参加した生徒の感想です。

「小中高と人権学習をしてきました。正直、小・中の内容は覚えてません。高校で学んだことは少しは覚えています。人権について深く学ばなくてもいいものではないかと思っていました。高3の今、就職差別について勉強し始めた頃に、人権に関する問題は、自分自身の問題だと思い、真剣に取り組み始めました。この研修会では他校の生徒や「たんぼぼ読書会」の方との意見交換など、この機会では体験できないことをやらせていただきました。様々な差別を経験してきた方々の話を聞くと、自分の人権意識に対する知識や考えが浅はかだったことに気付かされました。今後の人生をより良いものにし、豊かなものにできるように、卒業までの残された時間、しっかり学んでいきたいと思えます。」

## 「吉田高校人権委員会夏季研修会」

8月18日（水）に吉田高校人権委員会夏季研修会を開催しました。西予市宇和町の「たんぼぼ読書会」のメンバー7名をお招きして意見交換会を行いました。いろいろな話が聞けて貴重な体験となりました。



生徒の感想です。

「実際に差別を受けた人から話を聞ける貴重な体験ができよかったです。話を聞くだけでも辛いのに、実際に差別を受けた人は心が強いなと思いました。このような辛い思いをする人が増えないように差別問題について深く考える必要があると思いました。今回のお話を聞いて、差別について知ることができたので、とても良い機会になりました。これからの差別について自分で調べて今までよりももっと深く考えていきたいです。」

人権だよりは Teams、Classi でも配信しています。御意見・御感想などございましたら、お聞かせください。

